

---

第5回 三朝町議会定例会会議録（第3日）

平成28年9月7日（水曜日）

---

議事日程

平成28年9月7日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第59号 平成28年度三朝町一般会計補正予算（第2号）
- 日程第2 議案第60号 平成28年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第3 議案第61号 平成28年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第4 議案第62号 平成28年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第5 議案第63号 平成28年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第6 議案第64号 平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第7 議案第65号 平成27年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第66号 平成27年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第67号 平成27年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第68号 平成27年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第69号 平成27年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第70号 平成27年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第71号 平成27年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第72号 平成27年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第15 議案第73号 平成27年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第16 議案第74号 平成27年度三朝町水道事業会計決算の認定について
- 日程第17 議案第75号 平成27年度三朝町国民宿舎事業会計決算の認定について
- 日程第18 議案第76号 三朝町税条例等の一部改正について
- 日程第19 議案第77号 三朝町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第20 議案第78号 三朝町介護保険条例の一部改正について
- 日程第21 議案第79号 三朝町国民宿舎ブランナールみさきの指定管理者の指定について

## 本日の会議に付した事件

(質 疑)

- 日程第1 議案第59号 平成28年度三朝町一般会計補正予算(第2号)
- 日程第2 議案第60号 平成28年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第3 議案第61号 平成28年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第4 議案第62号 平成28年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第5 議案第63号 平成28年度三朝町財産区特別会計補正予算(第1号)
- 日程第6 議案第64号 平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第7 議案第65号 平成27年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第66号 平成27年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第67号 平成27年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第68号 平成27年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第69号 平成27年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第70号 平成27年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第71号 平成27年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第72号 平成27年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第15 議案第73号 平成27年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第16 議案第74号 平成27年度三朝町水道事業会計決算の認定について
- 日程第17 議案第75号 平成27年度三朝町国民宿舎事業会計決算の認定について
- 日程第18 議案第76号 三朝町税条例等の一部改正について
- 日程第19 議案第77号 三朝町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第20 議案第78号 三朝町介護保険条例の一部改正について
- 日程第21 議案第79号 三朝町国民宿舎ブランナルみささの指定管理者の指定について

---

## 出席議員(12名)

1番 石 田 恭 二

2番 吉 田 道 明

3番 池 田 雅 俊

4番 能 見 貞 明

5番 中 信 貴美代

6番 山 口 博

7番 清 水 成 眞

8番 藤 井 克 孝

9番 平井満博

10番 山田道治

11番 牧田武文

12番 福田茂樹

---

欠席議員（なし）

---

欠 員（なし）

---

事務局出席職員職氏名

局長 ..... 山根猛昭 副主幹 ..... 小椋智子

---

説明のため出席した者の職氏名

町長 .....	吉田秀光	副町長 .....	岩山靖尚
教育長 .....	朝倉 聡	総務課長 .....	西田寛司
会計管理者 .....	山中恵子	財務課長 .....	赤坂英樹
町民税務課長 .....	片岡里美	福祉課長 .....	新 寛
子育て健康課長 .....	前田敦子	農林課長 .....	青木大雄
企画観光課長 .....	椎名克秀	建設水道課長 .....	米原英章
教育総務課長 .....	小椋泰志	社会教育課長 .....	松原照宗
文化ホール館長 .....	吉田弘幸	危機管理課参事 .....	佐々木敦宏
教育総務課参事 .....	河村明浩	社会教育課参事 .....	馬野真由美
ブランナールみささ支配人	小椋 誠		

---

午前9時59分開議

○議長（福田 茂樹君） おはようございます。

ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。

以上、報告します。

---

日程第1 議案第59号 から 日程第21 議案第79号

○議長（福田 茂樹君） お諮りいたします。本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりですが、議事の進行上この際日程を変更して、日程第1から日程第21までの21件の議題を一括議題といたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、この際日程を変更して、日程第1から日程第21まで、すなわち議案第59号から議案第79号までの21件の議案を一括議題といたしたいと思ひます。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第59号、平成28年度三朝町一般会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。9番。

○議員（9番 平井 満博君） 一般会計補正予算の42ページの学校建設費の中の小学校統合事業費6,550万の費用ですけれども、何遍も聞きますけど、これはどういう目的の予算ですか。

○議長（福田 茂樹君） 河村教育総務課参事。

○教育総務課参事（河村 明浩君） これは平成28年度の補正予算で、総額6,550万円を計上しているものでございます。

内訳といたしまして、土地の鑑定評価業務の130万円、これについては不動産鑑定士に委託して1筆ごとに評価を行う費用でございます。遺跡調査費といたしまして文化財保護法に基づきまして遺跡調査を行うための費用で、主に賃金、印刷製本費などでございます。続きまして土地の造成設計業務、これは測量調査、地質調査、造成に伴う設計に伴う費用で、平成28年度の出来形部分に当たります40%部分を計上しております。2,000万円です。続きまして学校の校舎、体育館、プール、外構工事等に伴う設計業務の委託費用でございます。平成28年度の出来形分といたしまして2,368万2,000円。最後に用地取得、造成工事ということで残土の受け入れを行うための費用で、2,000万円を計上しております。残土は、国土交通省から受け入れるように計画をしております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） 3月定例議会に上程されていた費用と同じ項目ですか。

○議長（福田 茂樹君） 河村参事。

○教育総務課参事（河村 明浩君） 全体額は同じでございますが、内容は違っております。違っているところは、用地調査の設計業務と校舎の設計業務に対しまして発注時期がおくれるという

ことで、用地調査では10%の業務量の減額、校舎の建築実施設計におきましては11%の減額があります。ふえましたのは残土の受け入れということで発生しましたので、これを受け入れるために2,000万円ということで、6,550万円は同じ額になりました。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

4番。

○議員（4番 能見 貞明君） 39ページ、防災行政無線デジタル化事業に99万5,000円ついでいますけども、これはどういうことでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木危機管理課参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 助谷の大島地区につきまして、屋外スピーカーの音が聞きにくい、聞きづらいということがございまして、新たに屋外スピーカーを増設するものでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 4番。

○議員（4番 能見 貞明君） それは大体設計時とかそういうのにわかっとるんじゃないでしょうか。そしたら完全に設計ミスということになりますけども、どうでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 設計当時にはわかりませんで、4月になって聞こえないということが判明したものでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 4番。

○議員（4番 能見 貞明君） 以前、卓上というかそういうので全てそれは計算してあるというようなことを以前の議会でもありますけども、これは恐らく設計ミスだったら業者が持つべきものだと私は解釈しますけども、どうでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 時期は明らかではございませんが、ことしの2月ごろだったと思いますが、屋外スピーカーを鳴らし各区長さんに確認したところ、聞こえるということで報告を受けました。ですが、詳しく調べてみると聞こえない地域があったというものでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木参事、今のは業者が負担すべきではないかという質問ですので、それに対して答えてください。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 27年度末時点では聞こえるということでこちらも判断しておりまして、その後の調査、4月になってから発生したものでございますので、町が負担するよ

う予算要求したものでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 今の佐々木参事の説明からいいますと、27年度末において大丈夫だった……。

○議長（福田 茂樹君） まずどこの質問だということを言ってから。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 今の質問です。能見議員の関連です。

要するに来年といえますか、28年度末までいわゆる瑕疵として契約してあるというふうに伺っておりますけども、瑕疵の部分には相当しないという判断でしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） そのとおりでございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） 今度は41ページ、消防団研修費、これはどういうことでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木危機管理課参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） ことし10月に開催されます全国消防操法大会に消防団の操法指導者等を派遣し、次期全国大会に向けた研修をしようとするものでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） 今回この予算というのは初めて上がってきたと私は思うんですけども、それは何人の消防団の方が行って、これはことし初めてつくということはこれはずっと続ける、今後続けるということでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 現在の計画では総勢10名で、公用車を用いて参加するように計画しております。そのうち8名が消防団員でございます。

また、次年度以降の全国大会の視察研修につきましては、現在は考えておりません。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 40ページ、農林水産事業費のところ、がんばる地域プラン事業でございますが、内容をお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） がんばる地域プラン事業の補正について、説明をさせていただきます。

今回の補正でございますけれども、新たに大豆の収穫用コンバインを追加で整備をしようとするものでございます。事業主体はグリーンサービスでございます。事業費の2分の1が上げております324万1,000円ということをお願いするものであります。

なお、この事業につきましては、当初の計画では29年度の予定にいたしておりましたが、大豆製品の販売等が好調なことから、環境を前倒しをして整備をしたいということでございます。よろしくお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） そうしますと、今年度における大豆の作付面積どれぐらいになっておりますでしょうか。昨年度との比較において、ちょっともしわかりましたらお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 青木課長。

○農林課長（青木 大雄君） 大豆の作付状況ということでございます。

把握しておりますのは、今年度が30ヘクタールでございます。昨年度が28ヘクタールでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 続きまして、すぐその下の和牛振興総合対策事業ですけど、この内容をお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 和牛振興総合対策事業200万の補正についてでございます。

この事業につきましては、当初予算でも和牛の導入を支援するための事業として予算化をしておるところでございますけれども、追加の要望がございましたので当初8頭の予定を10頭にいたしまして、200万を補正をし対応しようとするものでございます。

なお、導入の予定農家は2戸でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） またその下のきのこ王国とっとり推進事業、この内容についてお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） きのこ王国とっとり推進事業の補正についてでございます。

この事業も当初できのこ王国とっとり、鳥取茸王の生産を振興しようとするもので、当初予算で本町で1名の事業を予定をしておりました。当初、発生ハウスとしましてパイプハウス1棟を予定しておりましたが、計画を組む段階でこれを2棟にして新たに散水施設等を追加するという事で、今回事業費を補正させていただくものでございます。よろしく願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 続きまして41ページ、土木費のところですけども、土砂災害特別警戒区域内住宅建てかえ等事業補助金、これはどこのことでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 場所ですけども、三朝町曹源寺地内でございます。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

○議員（3番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 最後に土木費もう一つ、住宅維持補修費、どこの住宅なのでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 住宅は全般にわたっての修繕になりますけども、大きいのでありますと平成8年に建築しました三朝団地の外壁コーキングが全部弱ってきてて水が入るということで、これが154万3,000円のうちの106万9,000円を予定をしております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第60号、平成28年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第61号、平成28年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑



ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第62号、平成28年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第63号、平成28年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第64号、平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について、まず事項別明細書の歳入の町税から手数料の農林水産費手数料まで、9ページから18ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、国庫支出金及び県支出金について、17ページから30ページ、民生費委託費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、財産収入から町債について、29ページから42ページまで、質疑ありませんか。  
9番。

○議員（9番 平井 満博君） 33ページの電源立地地域対策交付金繰入金、基本的には当初予算がゼロになっただけですけれども決算もゼロということで、この繰入金についてはいつからなくなったというかないのか。今後とも入る予定はないのか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 電源立地の基金繰入金でございますが、これは27年度につきましては文化ホールの改修に向けまして基金として積み立てをさせていただいたものでございますので、そのように処理をさせていただいたものでございます。

○議長（福田 茂樹君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） それは基金の部分でないですか。通年その電源立地の交付金というのが毎年入ったんですけど、それが一旦はここに繰り入れされんといけんではないかというふうに思いますけど。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 電源立地交付金でございますが、ここに上がっております繰入金というのは一旦基金に積んだものを崩すという意味合いでございます。ですので27年度この事業を行っておりませんので、崩していないということでございます。

逆に県から入ってきます交付金は28ページをごらんいただければと思いますが、県支出金として電源立地地域対策交付金ということで入ってきているということでございます。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

○議員（9番 平井 満博君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

7番。

○議員（7番 清水 成真君） 40ページの町債であります。5年前の平成23年度から比べると約5倍の金額ということで、15億1,400万円に膨れ上がっております。これはデジタル化整備事業とスポーツセンターの耐震工事によってこれだけの金額、11億円余りが増額になったというのが原因であります。今後、監査委員さんの意見書を見ると、この間のその壇上で報告された中では要注意だということをおっしゃっていただきましたが、これについての見解をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 起債の残高の関係でございます。

御指摘のとおり、27年の決算で大きく膨らんでおります。確かに起債の残高だけを見ますと要注意といえば要注意でございますが、いわゆる過疎債でありますとか緊急防災減災事業債等、交付税の措置の多い起債に変わってきております。ですので実質公債比率等は低下傾向にあるということで、もちろん今後について十分その償還に備えていくという必要はありますけれども、当面はそういったことをやりながら大丈夫といえますか、その実質公債比率等で見ると実質心配するレベルではないというふうに思っております。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成真君） 代表監査委員さんの御意見とすれば、やはり町債を発行するのはきちんとした適切な事業であって、またそこに発行するものについてもやはり十分に検討しなけ

ればならないというような意見があったと思いますが、その点についてはいかがですか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 御指摘のとおり、十分精査した上で発行していく必要はあるかと思っております。

それとあわせて、減債基金等に今回の補正でも積み立てを予定しておりますが、いわゆる後年度の負担に対しての備えというのをやはりあわせて行っていきたいというふうに思っております。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成眞君） 財政課長として、今後幾らぐらいまでは発行大丈夫だと感じておられますか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 具体的に幾らぐらいまでというのは何とも申し上げられませんが、やはり今後の経済の状況ですとか財政規模等にも収入の状況も見ていく必要があると思いますが、当面推計をして公債費の状況を見ますと、当面は大丈夫だろうということでございます。実際に具体的に幾らまでは大丈夫というのは、発行する起債によっても実質的な負担が違いますので、幾らまでというのはちょっとお答えできないかなと思っております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

9番。

○議員（9番 平井 満博君） 議案書の38ページ、町報の縮小版販売収入で8,000円上がったけども、基本的には在庫が何ぼあって、この8,000円ちゅうのは何冊売れたのかちょっとお聞きしたい。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 38ページの町報縮刷版販売収入でございますが、内訳といたしまして町報の縮刷版が1冊、5,000円と、それから以前に発行しておりました「ぬくもりの源泉」というのが1冊ございまして、それが3,000円でございますので8,000円という数字になっております。

それと町報の縮刷版でございますが、300冊を印刷させていただきまして、現在約85冊ほど販売の実績でございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） 残っておるということですけども、残らんように販売努力をということをちょっとおきます。

○議長（福田 茂樹君） 要りますか、コメント。

○議員（9番 平井 満博君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、歳出の総務費、43ページから60ページ、監査委員費まで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 50ページに神の食卓プロジェクト事業補助金というのが出ておりますが、この中身がどのようなものに使われたのか。

それから、これはふるさと健康むらの物産館では神の食卓という形でありますので、販売実績等の数字とか数量がわかればお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 神の食卓プロジェクトに対しましての事業補助金についてでございます。

補助金250万円でございますが、支出内訳といたしましては、まず広告宣伝費といたしまして約90万少しでございます。それから、製氷機でございますとか専用レジ、冷蔵庫等調理用具等の整備費といたしまして約140万円の支出でございます。それから店内の装飾、若干模様がえをいたしておりまして、約20万円の支出ということが内訳でございます。

27年度につきましてはこれらの整備に対しましての補助金をいたしまして、実際営業を開始いたしましたのが平成28年の3月末でございます。連休明け6月ぐらいまではマスコミ等の宣伝効果もございまして1日平均限定30食のうちの25食程度が販売の実績でございまして、現在につきましては平均いたしますと10食から15食といった推移でございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に民生費、59ページから66ページ、児童手当費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に衛生費、65ページから70ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

1番。

○議員（1番 石田 恭二君） 67ページの環境保全対策費の中の不法対策処理事業、これ内容を教えていただきたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 片岡町民税務課長。

○町民税務課長（片岡 里美君） 不法投棄処理対策事業について御説明申し上げます。

町内の不法投棄の処理を実施したもので、実績としまして西小鹿と助谷の可燃ごみ、粗大ごみ、不燃ごみ等の処理を行ったものでございます。

○議長（福田 茂樹君） 1番。

○議員（1番 石田 恭二君） これはかなり大量、大きいものだと思うんですけど、よく川の清掃なんかで小さいごみとかたくさん出てるんですけど、その辺の防止対策等役場でどうされていますでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 片岡課長。

○町民税務課長（片岡 里美君） 防止対策等の御質問でございました。

シルバーさんにトレーの回収を行っていただいております。そのときに不法投棄等のパトロールも一緒をお願いして、発見に努めております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 同じく68ページのこどもエコクラブ活動事業というので、金額は少ないですけどもどのような形の活動をやっているのか。

それから、補助の仕方はどのような仕方をしているのかをお聞かせください。

○議長（福田 茂樹君） 片岡町民税務課長。

○町民税務課長（片岡 里美君） こどもエコクラブの活動についての御質問でございました。

町内の3つの小学校と中学校の計179名が活動しております。東小学校では、花の苗を植えたり無駄な電気や水の点検を行っております。西小学校では三徳川の水質調査やリサイクル活動、南小学校ではペットボトルのキャップの収集や川魚、ウサギ、亀の飼育を行っております。三朝中学校では、夏野菜の栽培を行っております。1人当たり700円の活動補助をしております、活動しております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

8番。

○議員（8番 藤井 克孝君） 70ページの上段から6番目の地域自死対策緊急強化事業、これのちょっと内容をお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 済みません、もう一回。

○議員（8番 藤井 克孝君） 70ページの上段から6行目、地域自死対策緊急強化事業、この内容をお願いいたします。8万円。

○議長（福田 茂樹君） 前田子育て健康課長。

○子育て健康課長（前田 敦子君） 地域自死対策緊急強化事業でございますが、27年度につきましては講演会及び研修会を2回開催してございます。対象者といたしまして高齢者の方々、それからもう1回は町内事業所において働き盛りの世代の方への講演会を実施しております。

さらにキャンペーンを毎年9月には実施しておりまして、公用車にステッカーを張るなどしてございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に農林水産業費、69ページから78ページ、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。7番。

○議員（7番 清水 成真君） 74ページの鳥獣被害総合対策事業費であります。その下に鳥獣被害防止総合対策事業、同じような事業であります。この違いと内容について教えていただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 70ページ、鳥獣被害関係の事業についての説明ということでございます。

まず、上から2番目でございますが、鳥獣被害総合対策事業費補助金、これは県の事業でございまして、県が補助主体となりまして町が実施をしておりますもので、内容につきましては侵入防止の対策、それから猟友会等の個体を減らす対策、奨励金等も含んでおりますが、そういったものを手当てしているものでございます。

それから、2段下でございますが鳥獣被害防止総合対策事業、これは国が実施をしております侵入防止を行うためのフェンスですとか電気柵等を支援をしておる事業でございます。事業名が同じようなものが使われておりましてわかりにくいかと思っておりますけれども、御理解をいただきたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成真君） 先ほどの説明からすると、県のほうも防止対策事業の補助金も出

して、国のほうも侵入防止のほうの補助金をとといいますか事業をしているということなのですが、これはどういうことでこういうふうになっているんですか。

○議長（福田 茂樹君） ちょっと質問の意味が、もうちょっと。

○議員（7番 清水 成眞君） 同じような事業で、国と県が別々に補助金を出しとるということですか。

○議長（福田 茂樹君） 青木課長。

○農林課長（青木 大雄君） 県の事業につきましては従来から継続がされておる事業でございますが、国の事業につきましてはここ数年、鳥獣対策が全国的にクローズアップされてきておる中で組み立てられてきておる事業でございます。受益等で申しますとそういった意味では整理がされておりますので、同じところに国と県の事業が入るといふことはありませんけれども、メニューで申しますと同じことができるようなメニューも準備はされておりますが、それだけ状況が悪い、困っておるといふことだといふふうに理解をしております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 72ページにがんばる地域プラン事業というのがあります。多くの2,800万を超える金が投下されておりますが、この事業効果というものをどのように評価しておられるかお話しください。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 72ページ、がんばる地域プラン事業の事業評価についてでございますが、参考に見ていただければと思いますが、決算説明資料の116ページから117ページにかけて個別には説明をいたしております。

何本かございますけれども、特選三朝米ブランド化促進事業ということで、おいしい三朝米をブランド化するために特選三朝米という枠で生産を始めておりました。これを三朝温泉で消費していただくということで昨年から取り組みを始めております。1年目ということで、生産は3ヘクタール余りございましたが、2月から4月にかけて11の旅館で試験的に使っていただいたということで、28年度以降拡大をしまして取り組もうとしておるところでございます。

それから、神倉大豆の関係でございますけれども、先ほど神の食卓という事業のお話ございましたが、ああいったこともございまして県内を中心に消費が伸びておりました。そういうことで販売促進ということで中部、倉吉市内のスーパーさんもふえておりますし、鳥取市でありますとか県外の生協さんとの取引も始まっておるといふことで、一層の拡大を目指しておるところで

ございます。

4 番目以降は地力増進の関係ですとか技術的なこと、一番大きなのは J A の三朝ライスセンターの乾燥機を改修しておりますので、こういったことをあわせて使いながら品質のいいものを提供していきたいということで、1 年目を終えておるところでございます。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 同じく 7 2 ページ、みささの味わい発信事業ということで、説明資料の中には食のみやこフェスティバルなど各種イベントを通じて特選三朝米や神倉大豆の P R 活動を実践したとありますが、三朝のこのきぬむすめ、特 A を 4 年連続ととるわけですね。それで島根の仁多米というのは 1 回とって特 A 特 A 特 A っていうのがいな P R やとるわけですね。売れ行き、この間、東京から私の娘が帰ってきたんですけども、仁多米というのは結構東京のほうで有名になつとるみたいです。仁多米が欲しいという声がすごく上がつとるようです。特 A を 4 年も連続ととる三朝のこのきぬむすめあたりどうやって、この程度の P R で果たしてそれができるのかどうか。これ 1 0 倍かかってもええから、もっと売れ行きが上がるようなことを考えないけんはないかと思うだけでも、農林課としてどういうふうに考えておられるでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） おっしゃるとおりだと思っております。ただ、例えば仁多米、コシヒカリだと思えますけれども、面積が恐らく 3, 0 0 0 ヘクタールぐらいあったんだと思います。それで三朝には三朝に合った面積がございますし P R の仕方というものがあまして、そういう考えの中で今三朝温泉との組み合わせを模索しておるところでございますが、もちろん十分ではございませんので、関東なのか関西なのか、その辺も考えながら機会を捉えていきたいというふうに思っておるところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 石田 恭二君） 池田議員、山口議員の関連なんですけど、今の三朝米のブランド化のことですけど、これ 2 月、3 月だけで 3 ヘクタールの米を使ったという……。

○議長（福田 茂樹君） 事業としてはどれですか、事業費としては。

○議員（1 番 石田 恭二君） 事業はがんばる地域プラン事業です。済みません。

2 月、3 月で 3 ヘクタール使われた。それで旅館が 1 1 旅館ということですけど、これもし全旅館とか参加される旅館がふえた場合、それと 1 年間通して本当にこれが提供できるのかどうか、どう考えておられるでしょうか。



○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 旅館での消費量全体がつかめないところもございまして、はっきり面積との組み合わせということではまだできていないのが実態でございますけれども、使うなら年間を通じて供給してほしいという声は上げていただいておりますので、1つずつクリアをしながら進めていきたいと思っております。

それと生産のほうもそれについていく必要がありますので、ここはまた違う力が必要かなというふうには思っておりますので、ニーズと生産をマッチングさせながら進めていきたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 今に関連しますががんばる地域プランで、この特選米ブランド化促進事業で169万2,000円が出ておりますけども、これは旅館に提供するのを無償で提供してるといえるのでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） ここの事業費についてでございますが、これはPRとかいろいろな旅館、三朝温泉以外の経費ももちろん含んでございまして、三朝温泉に供給しているものにつきましてはもちろん無料で提供しているものではございません。単価等を設定をしまして、ただ調整がし切れないところはございますので、そういった部分については事業費の中から例えば旅館にはPRをお願いするという経費とか、生産者にはメリットが出るような仕組みをつくっております。その関係で支出しておりますのはこの中の40万ぐらいがそういう経費には当たっております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に商工費、77ページから82ページ、公園管理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に土木費、81ページから86ページ、住宅管理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に消防費、85ページから88ページ、原子力防災対策費まで、質疑ありませんか。

4番。

- 議員（4番 能見 貞明君） これは非常備消防費ですけども、コミュニティー助成事業……。
- 議長（福田 茂樹君） 何ページ。
- 議員（4番 能見 貞明君） ごめんなさい、86ページです。団員資機材拡充事業というのはどういうことをやられたのでしょうか。
- 議長（福田 茂樹君） 済みません、もう一度言ってあげてください。
- 議員（4番 能見 貞明君） 86ページのコミュニティー助成事業、消防団の資機材の拡充と書いてありますけども、どういう資機材の拡充をされたんかということです。
- 議長（福田 茂樹君） 佐々木危機管理課参事。
- 危機管理課参事（佐々木敦宏君） 決算説明資料24ページに書いてございますが、消防団員の全員に対しましてかっぱを購入して配備したものでございます。以上です。
- 議員（4番 能見 貞明君） 結構です。
- 議長（福田 茂樹君） 10番。
- 議員（10番 山田 道治君） 88ページの消防施設整備費の中で、吉尾の防火水槽にふたをされたということの事業があるんじゃないかなと思いますけども、これはどういう基準で設置されたのかということと、またこれ全額町が負担されたのか。また、要望があればどこでもやっていただけるのか。その辺のことを教えてください。
- 議長（福田 茂樹君） 佐々木危機管理課参事。
- 危機管理課参事（佐々木敦宏君） 手元に資料がございませんので、時間をいただきたいと思えます。
- 議長（福田 茂樹君） しばらく休憩いたします。

午前10時46分休憩

午前10時56分再開

- 議長（福田 茂樹君） 再開します。
- それでは答弁、佐々木危機管理課参事。
- 危機管理課参事（佐々木敦宏君） 無蓋式の防火水槽を有蓋に改修することにつきまして、地元負担金があるかないかということにつきましては、地元負担金はいただいております。
- 昨年、吉尾での防火水槽の改修したことにつきましては、集落の要望がありましたので安全を

確保するために工事をしたものでございます。

要望があればどこでもするかという御質問につきましては、財源等のこともございますが、順番をつけながら改修するようにしていきたいと思っております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 基準はなくても要望すれば、どういう順番かわかりませんが、その順番のつけ方も教えていただきたいと思います。要望があれば、とりあえずつけていくということですよ。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 財源、予算等の関連もございまして、改修に向けて進めていきたいと考えております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 27年度は予算があったということですね。たまたまお金があっただけということではよろしいですか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 27年度の要望は吉尾と鎌田がございましたが、27年度に吉尾、そして今年度鎌田というふうに計画的につけているところでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

4番。

○議員（4番 能見 貞明君） 88ページ、災害対策費で災害情報マップ作成事業、これはかなり前から出ておりますけれども、これいつになったら完成しますか。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木危機管理課参事。

○危機管理課参事（佐々木敦宏君） 今年度、28年度中に完成するよう努めているところでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に教育費、89ページから100ページ、学校給食費まで、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 98ページの世界遺産登録促進事業ですけども、講演会を開かれたということですけど、これがどういう促進につながったのかどうか教えていただきたい。

○議長（福田 茂樹君） 松原社会教育課長。

○社会教育課長（松原 照宗君） この講演会は、元文化庁の記念物課長をお招きして、日本遺産と世界遺産の違いということで講演をいただきました。日本遺産と世界遺産の違いをわかりながら、世界遺産に向けてのそういった取り組みを図るという形での講演会でしたので、そういったものを皆さんに御周知したということでございます。

○議長（福田 茂樹君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） この講演の中で、じゃどういう取り組みが有効だというふうに言われたのか教えてください。

○議長（福田 茂樹君） 松原課長。

○社会教育課長（松原 照宗君） 世界遺産につきましては、普遍的価値を示すことが必要だということをずっと世界遺産の登録の要件に上がっておりますので、そういったものが必要だということをおっしゃっておりました。

○議長（福田 茂樹君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 一般論としてはその普遍的価値がわかるんですけど、じゃ三徳山の普遍的価値は何だと思われませんか。

○議長（福田 茂樹君） 松原課長。

○社会教育課長（松原 照宗君） それを今県なり国なり、そういったものと一緒になって研究協議をしておるところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 3回終わりましたので。

ほかに。

7番。

○議員（7番 清水 成真君） 小学校と中学校の遠距離通学費補助金であります……。

○議長（福田 茂樹君） 何ページですか。

○議員（7番 清水 成真君） 92ページと94ページです。一般質問にもあったわけですけども、定期券を購入する児童についてちょっとお伺いしたいと思います。

この定期券を買う児童につきましては、小学生については2,880円を減額したものを補助金として出す。中学生については、5,700円程度減額したものを出しているということでありま。やはり小学生の義務教育の通学ということになると、やはり平等性から考えてどこに住んでいても減額したものを補助金として出すのではなくて、やはりどこに住んでいても無料で通学できるような状況が一番いいと思いますが、これについての考え方をお知らせください。

○議長（福田 茂樹君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） ただいまは、小学生と中学生の通学費の助成についての考え方についてということでした。

今回といいますか通学費ということで、2キロというのを一つの前提にして、それを控除した残りの金額ということで助成をさせていただいております。この2キロというのは、本来ですと小学校ですと4キロ以内、中学校ですと6キロ以内がいわゆる歩いての通学の範囲内ということでございますけれども、三朝町の場合は2キロということをそれを狭めまして、2キロ以上のものについては助成の対象にしようと。

2キロという一つの根拠としては、2キロといういわゆる徒歩通学の方については何の補助ももらわれずに徒歩ということで通学されているというところで、それを控除してという考え方があります。

将来的にこの2キロの部分も取り払って、全額無料にするかどうか。こういったこともこれからの議論の余地は十分あるかと思っております。今の現状としては、そういった考えで進めているというところであります。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成眞君） その2キロの児童に対して、不公平感があるのではないかと、そのようなことだったんじゃないかと思いますが、2キロの児童についてはやはり通学を無料でしとるわけですね。ですけれども奥部に住んでいる小学生についてはその分を減額されて、親がその分を払って、それで定期券を買うわけですね。その分というのをやはり無料で通学できる人と減額された部分を負担を払っていくというのが、私としては何となくしっくりこないですね。前に聞いたら、スニーカーが減るのでスニーカー代を出しているみたいなことを言われたことがあったんですけども、じゃ1カ月スニーカーを5,700円分使うのかというようなこともあったりして、やはりこれは平等性から考えて、公平性から考えて、やはり条例を含めて改正するべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 小椋課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） いろいろ中部なり県内の他町の例等も参考にさせていただいております。現状としては、なかなか全額通学費を補助しているという形のところはそんなに多くはございません。

先ほどありましたように、将来的なこととして、そういったことも当然これからの検討課題というぐあいに思っております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 中信貴美代君） 94 ページなんですけども、不登校対策支援員配置事業の中で 27 年度は何人で、活動内容と成果を教えてくださいませんか。お願いします。

○議長（福田 茂樹君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） 不登校対策支援員を配置していることについての実態と成果という御質問であります。

まず、27 年度の不登校の生徒の児童は 5 名ございました。この支援員ということで配置しております職員に対しては、この中心としてはこの 5 名の不登校の児童さんに対して毎日のようにまず声かけといいますか電話をかけたとか、時には送り迎えみたいな形で自宅まで迎えに行く、また送りに行く。こういったことによって、いわゆる現職の教師が通常の授業のほうに集中して専念できるというメリットもございます。

この事業を配置したのが二、三年前からだったと思いますけれども、それまではこういった配置というのができておりませんでした。やはりこの専門員的な人員を配置したということで、不登校が減るようになっていけばという思いであります。これからも継続していきたいというぐあいに考えています。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

ほかに。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 先ほどの清水議員の関連質問でございますが、登校にかかわる費用というのは、義務教育でありますから学校に行きたくないとか、そういうことにかかわりなく学校に通わないけんわけですよ。大もとの憲法でも、義務教育はこれを無償とするという一項がございます。これはあくまでも努力目標ではありましようが、こういったいわゆる山間僻地において学校に通うということがどれだけのいわゆる労力、それから経済的負担があるかということ行政はしっかりと考えるべきではないか。ましてや 30 年に小学校は統合するわけです。一番遠い子になりますと、10 キロ近い通学距離ということになってきます。これを補助、助成という形で、将来のある子供たちの教育に対して支障を来すようなことは絶対にあってはならないことだというふうを考えられます。ですからこの通学のことに関しては、先ほど清水議員も言われましたように無償、要するに町が全てを持って学校に通っていただくという姿勢を貫いていくべきではないかというふうに考えます。そういった方向で検討をお願いしたい。お考えをお聞か

してください。町長と教育長に答弁をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 一般質問のような形ですね、それ。

○議員（3番 池田 雅俊君） 大事なことでしょう。

○議長（福田 茂樹君） 決算に対する考え方。

○議員（3番 池田 雅俊君） うん、だからこのお金の使い方を言っとるわけですから。

○議長（福田 茂樹君） しばらく休憩します。

午前11時09分休憩

.....

午前11時09分再開

○議長（福田 茂樹君） では再開します。

吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 子供たちの教育に極めてかかわる問題だというふうに思って、受けとめさせていただきました。いろんな角度の中で、いろんな委員会等も含めて協議検討をしてみたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 朝倉教育長。

○教育長（朝倉 聡君） 先ほど小椋課長からも申しあげました小学校については4キロ、中学校については6キロ以内については徒歩通学という原則がございます。こういうふうな原則があるわけですが、その実態についてどこまでの徒歩通学をしていただくかというふうなところも考えながら、議員さんの御意見も参考にさせていただきながら、負担をなくすというふうなことで検討してみたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

2番。

○議員（2番 吉田 道明君） 94ページの上から9行目かな、全日本ジュニアオリンピック派遣とか中国大会、全国大会へ中学生が行ったということですが、私は去年もおとどしも委員会のときに言ったと思いますが、こういうことはめったにないことですばらしいことですので、町民に徹底的に周知するべきではないですかということを行ったはずですが、周知されましたか、これ。去年。

○議長（福田 茂樹君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） 町報等で出てた部分はあるかもしれませんが、先ほどおっしゃったように、積極的にこういった実績を町報等で周知で載せていったということの部分ではやれ

てなかった部分があったと思います。

○議長（福田 茂樹君） 2番。

○議員（2番 吉田 道明君） やっぱり要望は今言っちゃいけんでしょうけど、決算ですけど、これは応援したい人、例えばせんべつでもあげたいなど。いっぱいおられるわけだがん。なぜこれやられんのかちゅうこと、今後はもっと周知するべしだと思います。補助金、これは多いだか少ないだかちょっとわからんけど、それに対してそんなに費用は要らんと思いますよ。町民に周知の仕方は。そこが物すごいこの三朝町役場ちゅうところは下手だ。何回も言っとるだけ。以上、終わり。

○議長（福田 茂樹君） 答弁は。

○議員（2番 吉田 道明君） 要らん。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1番。

○議員（1番 石田 恭二君） 今の吉田議員の関連でよろしいですか。よその地域では、こういう大きな大会に出る場合は横断幕等結構出してるところがあるんです。どっから予算が出てるかわかりません。やはりそれは道路沿い、役場も世界遺産登録、日本遺産登録という垂れ幕出されます。こういうジュニアオリンピックとかそういうもの、全国的、世界的なものに出る場合、横断幕一つ役場の前にあれば絶対目につくはずなんです。町報を全員見てるわけではありません。本当、横断幕一つだけでも、ああ、ここはこういうふうに頑張ってるなというのがわかるはずなんです。

実は、自分の家の隣の子がジュニアオリンピックとか全部出てた子なんです。ただ集落の人はほとんど知らないんですよ。町報見てる人はわかりますけど。自分なんかもいつも新聞でチェックはしますが、やはりその横断幕一つだけでもいい、子供の今後成長、実力つけていくためにはそういう応援の仕方だけでもいいんで、そういう予算というかね、今回はこういう形で吉田議員が質問されましたけど、ぜひやっていただきたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） いろいろ御意見ありがとうございます。積極的に広報に努めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 図書館のほうで……。



○議長（福田 茂樹君） 何ページでしょうか。

○議員（3番 池田 雅俊君） 一般管理費になるのかな、98ページ、図書館一般管理費、うそだ。

○議長（福田 茂樹君） まずページ数を言って、どこに載ってる項目なのか項目を言って、予算が幾らついているのか。そこから始めてください。

○議員（3番 池田 雅俊君） 失礼しました。98ページ、図書館整備費、昨年度、27年度は図書の整備で約500万という高額な金額をつけて本を購入しているようです。これによって、図書館が非常に充実してきたというふうに私も認めます。

それでこの金額がさらに永続的に続くような形でしていただければというふうに思いますが、町長の今後の方針も……。

○議長（福田 茂樹君） 町長じゃない、担当参事にまず答えていただかないと。順番です。

○議員（3番 池田 雅俊君） 図書の充実を図っていただきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 馬野社会教育参事。

○社会教育課参事（馬野真由美君） 図書館整備費についてお答えいたします。

一昨年、個人の篤志による寄贈もございまして一般図書の購入費400万。それに加えて指定がございましたので、図書費100万を計上させていただいて購入しました。その結果として、開館20年以来傷んだ児童書を中心に買いかえ、それから学習資料を厚くそろえたことで図書館の棚の雰囲気明るくなった、また選べる本がふえたということで学校貸し出しがふえ、個人の特に絵本を中心の貸し出しがふえて、大変好評をいただいております。ぜひ年間500万のペースをいただいて、この利用者増を継続していきたいと考えております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費から予備費まで、99ページから104ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

その他、全般について、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 財産調書の2ページの出資金のことですけども、三朝カントリー

クラブの出資金が30万出されておる。これはもう載せないほうがいいんじゃないかなと思いますけど、いかがでしょう。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 三朝カントリークラブの出資金でございますが、27年決算時点、3月末の時点でまだ債権者集会等が全て終了しておらなかったもので載っておるということで、28年度の決算ではなくなるというふうに思っていたらと思います。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成眞君） 歳入歳出決算審査意見書の監査委員さんが出されている一般会計の部分であります。この32ページと33ページの一般会計に属する基金というのがありますが、基金は13基金あります。24億全て、24億あるわけですが、この中で運用状況が次のページに載っているわけでありまして。一般会計の基金の運用状況でありまして、三朝町の土地開発基金というの1,500万ほどあるわけですが、ほとんど動いていないと考えておりますが、この基金についてはやはりずっとこのまま残しておかれる基金なのかということと、それと奨学金の貸付基金でありますけども、ほとんど借りておられる方も昨年度もなかったということが載っております。まだまだ周知徹底というのもあると思いますが、この点について2点ほどお聞かせいただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 私のほうから、土地開発基金のほうについてお答えをさせていただきます。

土地開発基金につきましては、用地の先行取得でありますとかそういったことのために活用するという事で来ておりました。以前はこのほかに土地開発公社もありまして、土地開発公社で先行取得するのか基金で土地を先行取得するのかという2つの方法をとっておりました。現在、土地開発公社は解散してしまいましたので、唯一そういった先行取得をするための基金ということで今も一応残しておるということでございます。

ただ、おっしゃるように、用地を先行取得してなかなか事業をするということも少なくなってきました。今後その基金のあり方については、また検討を進めていきたいと思っております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） しばらく休憩します。

午前11時21分休憩

午前11時21分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開します。

答弁、小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） 申しわけありませんでした。

奨学資金の貸付基金の件でございますけれども、現状としてはまだ借りておられる方がございます。また、現在奨学資金ということで制度としては当然ございますので、これから借りようとされる方もある可能性はございます。ですので、その場合にはこの基金からの運用ということになりますので、基金についてはこのまま残していきたいというぐあいに思っております。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成眞君） ちょっと質問の意図が違ってたんですが、この貸付基金自体の奨学金を借りれるんだということがまだまだ御存じない方たくさんある。だからもっと周知徹底して宣伝して行って、どんどんそういうことができますよということを宣伝されたらどうですかということです。

○議長（福田 茂樹君） 小椋課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） この奨学金の貸し付けの件につきましては、毎年中学校のほうに対して説明会なり資料を配付しております、年に1回は。それだけでもなかなか足りないということもございます。その場合には、改めて町報ですとかそのほかの方法もあわせてPRに努めていきたいと思っております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

8番。

○議員（8番 藤井 克孝君） 75ページの林業振興費の中のナラ枯れ……。

○議長（福田 茂樹君） 何ページですか。

○議員（8番 藤井 克孝君） 76ページ。

○議長（福田 茂樹君） いや、今全般ですよ。先ほど農林業とか云々はもう終わってます。

○議員（8番 藤井 克孝君） 終わっとるですか。いいです、なら。

○議長（福田 茂樹君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） 財産調書の件ですけども、ここの4ページの中で貸付金になしというふうに表記されていますけども、ブランナールに一時借入金とか長期借入金というブランナールに貸し付けてる銭があるんですけども、これはどういうふうな処理でされとるのかちょっとお聞きしたい。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） ブランナールへの貸し付けにつきましては、主にといいますか町から貸しておりますのは基金の運用で貸し付けをしておるということでございます。いわゆる基金を定期預金にしたりとか債券を買ったりとか貸し付けたりということの中のそういった関係で、基金を運用として貸し付けているということでございます。

○議長（福田 茂樹君） 9 番。

○議員（9 番 平井 満博君） 基金の中にそういった表記がされておるんですか。ただその基金を減らして出いとるというだけじゃなしに、これがブランナールの貸付金ですよみたいな表記はどこにしておりますか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 財産調書の中にはその内訳は表記がされておりませんが、いわゆるこの中で現金預金で持ってるもの、貸し付けのものというのがあるということでございます。

○議長（福田 茂樹君） 9 番。

○議員（9 番 平井 満博君） その表記という、誰が見てもわかるという表記の部分はないんですかという質問です。

○議長（福田 茂樹君） 山中会計課長。

○会計管理者（山中 恵子君） 申しわけありません。ここの中には表記としてはしておりませんが、今後ちょっとそれがわかるように表記の仕方を考えていきたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 公営企業会計の意見書の 5 ページですけども、建設改良事業 3,580 万 3,000 円の中のア、電気探査、ボーリング調査による水源の調査費が 903 万 4,000 円とありました。結局、水は出ませんでした。ということは、このお金は一般的に言うところの水の泡になったということになります。

それとその次の 6 ページ……。

○議長（福田 茂樹君） 池田議員、さっきのは水道事業特別会計の中でやってください。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 何でや、全体のことを言ってる。このことに関して、次……。

○議長（福田 茂樹君） 特別会計に出てきますから、決算で。水道会計で出てきますので。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 以上で議案第64号、平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定に対する質疑を終結します。

議案第65号、平成27年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

7番。

○議員（7番 清水 成真君） 意見書にもありますが、徴収率がやっぱり低いということの対策が求められるということが監査委員の意見書のほうにも載っております。現年度分はまだしも、滞納繰り越し分の徴収率がいかにも低いということではありますが、この件について意見をいただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 前田子育て健康課長。

○子育て健康課長（前田 敦子君） 滞納についての徴収率、低いのではないかとということがございます。

このことにつきましては、町民税務課の税の担当者、それから広域連合に滞納整理として負担をお願いしている現状でございます。徴収率といたしましては、上がってはおります状況です。

そのほか、詳細につきましては町民税務課長に追加をお願いしたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 片岡町民税務課長。

○町民税務課長（片岡 里美君） 徴収方法等は、子育て健康課長が申されたとおりでございます。

国民健康保険税の徴収率低いようなんですが、実際には年々上がっておりまして、広域連合での徴収も上がってきております。27年度決算で申しますと、現年分と過年分になりますが、87%と26年度から5%上がっておりますので、年々徴収もふえていると思っております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成真君） 前年度分より4.5ポイントふえておるわけですが、滞納分としましては少しだけふえております。22.7%ですが、100%のうちの22.7%というのは、やはり低いのではないかとということが監査委員さんのほうの対策を求めるという部分があります。この対策を求めるという部分については、どう考えておられますか。

○議長（福田 茂樹君） 片岡課長。

○町民税務課長（片岡 里美君） 対策と申しますと、引き続き広域連合等に長期にわたるものは委託に出しながら、職員一丸となって徴収に努めたいと思っております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第66号、平成27年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、  
質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第67号、平成27年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑  
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第68号、平成27年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑  
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第69号、平成27年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑  
ありませんか。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 6番、山口。配湯単価が昨年度は立米当たり何ぼだったかを教えて  
いただきたいと思えますけども、温泉の配湯単価。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 温泉ですけども、旅館等に配湯しとる部分の基本料金が2万円、  
それから医療関係とか共同浴場関係等が月1万円ということでの基本料金でございます。以上で  
す。

○議長（福田 茂樹君） 聞いとんなるのは基本料金じゃないでしょう。配湯関係。（発言する者  
あり）

米原課長。

○建設水道課長（米原 英章君） ちょっと資料を持ち合わせておりませんので。

○議長（福田 茂樹君） 休憩します。

午前11時33分休憩

午前11時35分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開します。

答弁、米原課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 先ほどは基本料金まででございました。50トンまでが基本料金で、先ほど言いました旅館等が2万円、医療施設と公共浴場が1万円です。50立米。それを超える1立米当たりの単価につきましては、1立米、旅館等が250円、それから医療関係も250円ということです。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 6番、山口です。三朝地区は各集落に温泉がありまして配湯を受けるところもあると思いますけども、その単価はどのような単価になっているのでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 各集落の。

○議員（6番 山口 博君） ごめんなさい、一つの例として横手なんかが買っていますけども。

○議長（福田 茂樹君） 各集落に配湯しとるのはわかりますか。

米原課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 共同浴場等につきましても条例のほうでありますけども、基本料金1万円と1立米当たり250円でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第70号、平成27年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

7番。

○議員（7番 清水 成真君） 下水道事業ですけども、未納金が1,540万円。1,500万円程度未納があるわけですけども、これについての対策というのは今後はどう考えておられますか。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 未納の件でございます。

下水道料金並びに集落排水の特別会計の利用料につきましては、水道使用量のメーターに応じていただいておりますけども、そういった水道の部分と流れてくる分を両方とも滞納なりされている方がございまして、その方々につきましては毎月の督促状並びに催告状、累計の部分

つくりまして払っていただくように催促はしております。また、水道のほうのそういった分納誓約のほうを結んでいただいて、とめた分を開栓していくというやなことで、これからもそういった閉栓といいますか、とめさせていただいて、なおかつ分納誓約をしていただくように努力をしてみたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第71号、平成27年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第72号、平成27年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第73号、平成27年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第74号、平成27年度三朝町水道会計事業決算の認定について、質疑ありませんか。  
3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） この公営企業会計の意見書といいますか、この中の5ページに電気探査、ボーリング調査による水源の調査、これ900万ということがあります。多分出るだろう、多分出るだろう、2カ所不発に終わっております。結局、結果的に何にもなしに終わったお金です。そこについて、今後どのような考え方でこれを臨むのか。いわゆる出来高ですか。そういったこともやっぱり考えていくべきでないだろうか。

それから、続いて2問です所以说ってしまいます。6ページ、有収率が平成25年度以降連続して80%を割り込んでおり、これの改善を図ることが必要であるというのが出ております。この監査委員からの報告について、どのような努力をすべきであるとするのか。この2問お願いいたします。



○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 監査委員の御意見のほうにも書いてあります。電気探査、ボーリング調査の水源調査に930万4,000円ということで使用させていただきました。調査の結果、ボーリングをしたわけですが、水質が悪く使用できなかった部分とか、水が少なかったという部分があります。この件につきまして、28年度の予算のほうで三朝の温泉街なりそういった上流からの水を求めるという方針は変わっていませんけども、議会等でもありましたとおり簡易水道からの水を利用してはどうかという御意見もありまして、現在28年度上流部といいますが、簡易水道施設について5カ所以上のポイントになりますけども、その簡易水道の水源を今現在調査をしております。水源の水の量とか、それが可能であるならその部分の水を下のほうに持ってくるためには配水池なり送水管なりそういった施設が必要となりますので、またその費用を見ながら、それも相当な事業費がかかるなら今後どうしていくか。新たにやはりボーリングを掘るのか。その部分も全体的な事業費を踏まえて、次の段階に進んでいきたいと思っております。

それから、2点目でございますけども、有収率の向上ということで年々下がるとということでございます。

有収率というのは給水の量割る配水の量ということで、そういったつくる部分の水の単価もだんだん上がってきております。その部分も抑えていくことも必要でございます。一番にはやはり漏水が多いということが、つくった水がどっかで漏ってしまっているということから、そういった漏水の箇所をちょっと見つけるのはなかなか努力が必要ですけども、そういった漏水が多い部分を発見して、その部分の有収率を上げていきたいと思っております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第75号、平成27年度三朝町国民宿舎事業会計決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第76号、三朝町税条例等の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第77号、三朝町国民健康保険税条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第78号、三朝町介護保険条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第79号、三朝町国民宿舎ブランナルみささの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案に対する質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております21件の議案のうち、議案第64号、平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、議案第64号、平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

指名いたします。

総務教育常任委員会から清水成真議員、山口博議員、産業民生常任委員会から能見貞明議員、中信貴美代議員、副議長、平井満博議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました5名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から清水成真議員、

山口博議員、産業民生常任委員会から能見貞明議員、中信貴美代議員、副議長、平井満博議員、以上5名の諸君が特別委員に選任されました。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の20件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、議案第64号、平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定についてを除く20件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

---

○議長（福田 茂樹君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

あすからは日程表のとおり各委員会を行い、9月15日の最終日は午後3時から本会議を開催いたします。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さんでした。

午前11時48分散会

---